

《重点事業 31》農業の新たな担い手の確保

[優先施策 24 関連]

集落営農組織確保推進事業費	[446 万円]
元気な農業者ネットワーク支援事業費	[710 万円]
えひめ団塊の世代等就農支援事業費	[198 万円]
ふるさと体験交流事業費	[93 万円]

1. 事業の目的

意欲ある農業者や一般企業を会員とする農業支援組織「あぐりすとクラブ」を設立し、農業者の能力向上・経営拡大の場として支援します。さらに、農業生産の主体となり得る集落営農組織を育成します。

また、団塊の世代の退職者等を対象として、就農啓発を実施するとともに、農村と都市部の独身男女を対象とした農村体験等を実施し、出会いの場を創出します。さらに、農業生産の主体となり得る集落営農組織を育成します。

2. 事業の概要

集落営農組織の育成

地域農業の担い手となり得る集落営農組織の育成や経営の高度化を支援します。

農業支援組織「あぐりすとクラブ」の設立・運営

農業者の経営能力向上や、会員相互が支援する仕組みを構築し、農業の振興を図ります。

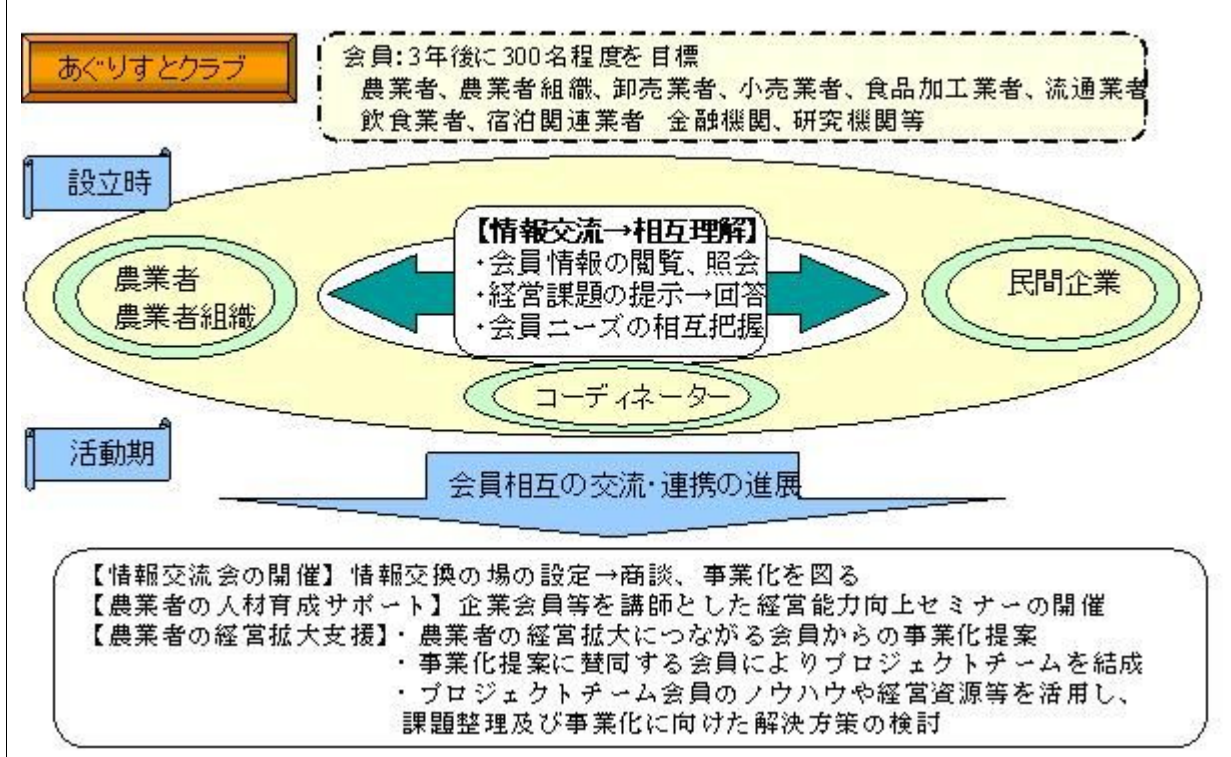
団塊の世代等の退職予定者に対する就農を促進

団塊の世代等の退職者を対象に農業・農村体験イベントや就農フォーラム、企業人事担当者への就農説明会等を開催し、就農希望者の掘り起こしを行います。


農村部の独身青年の出会いの場を創出


農村と都市部の青年の農村体験等を通じて、独身男女の交流を支援します。

元気な農業者ネットワーク支援事業の概念図



3. 事業の成果指標と目標値

指標の名称	中高年齢者の新規就農者数			
指標の説明	団塊の世代等の新規就農者数 担い手の確保・育成アクションプログラム（H17.7）で目標を設定			
指標の方向性		現状値と 目標値	現状値（平成 19 年度）	目標値（平成 20 年度）
			74人	88人

指標の名称	集落営農組織数			
指標の説明	集落営農組織の設立数 担い手の確保・育成アクションプログラム（H17.7）で目標を設定			
指標の方向性		現状値と 目標値	現状値（平成 19 年度）	目標値（平成 20 年度）
			267組(見込)	295組

4. 事業の全体計画（スケジュール）

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
1 集落営農組織確保推進事業					
2 元気な農業者ネットワーク支援事業					
3 えひめ団塊の世代等就農支援事業					
4 ふるさと体験交流事業					

5. 事業の実施に当たり県民等に期待すること

農業者は、地域農業の担い手となる集落営農組織の必要性を認識し、集落内の話し合い等を通して設立に向けた機運を高めましょう。

農業者や企業の皆さんが積極的に「あぐりすとクラブ」の会員になり、会員のノウハウや経営資源等を活用し、愛媛農業の振興・発展に努めましょう。

都市の青年や他産業退職者は、農村体験イベント等に積極的に参加し、食料・農業・農村の大切さを再発見しましょう。

定年退職者は、第二の人生を豊かな自然や環境に恵まれ、健康で心豊かに生活できる農山村での就農や定住を考えてみましょう。

農業者と地域住民は、農地・農業用水等の地域資源が、将来にわたって良好な状態で保全管理されるよう努めましょう。

《重点事業 32》農林水産物のブランド化の促進 [優先施策 25 関連]

えひめブランド等販売拡大事業費	[1,381 万円]
えひめ農林水産物ブランドづくり推進事業費	[600 万円]
水産物輸出支援事業費	[183 万円]

1. 事業の目的

(1) えひめブランド等販売拡大事業

県産農林水産物及びその加工品の販売拡大を図るため、生産から流通、消費に至るまでの関係団体の代表者で構成する「えひめ愛フード推進機構」を設立・運営し、県民総ぐるみで、安全・安心で優れた品質の農林水産物のブランド化や販路の拡大に取り組みます。

(2) えひめ農林水産物ブランドづくり推進事業

意欲ある産地が行う農林水産物の積極的な流通・販売等のブランドづくりの取組みを重点的に支援し、活力ある農林水産業の構築を図ります。

(3) 水産物輸出支援事業

県内生産者が行う中国への水産物輸出を支援し、安全・安心、高品質でおいしい愛媛の魚の評価を一層高めて、他産地との差別化を促進することにより、魚価の安定・向上を図ります。

2. 事業の概要

(1) えひめブランド等販売拡大事業

えひめ愛フード推進機構の運営：総会（1回）幹事会（6回）

「愛」あるブランドの育成：ブランド認定審査会（2回）「愛」あるブランドのPR 等

県外での販売拡大：トップセールス（東京、近畿地区）、ブランド製品の夕べ（大阪）、

量販店愛媛フェア（近畿地区）、商談会等の開催・出展（東京、近畿地区）

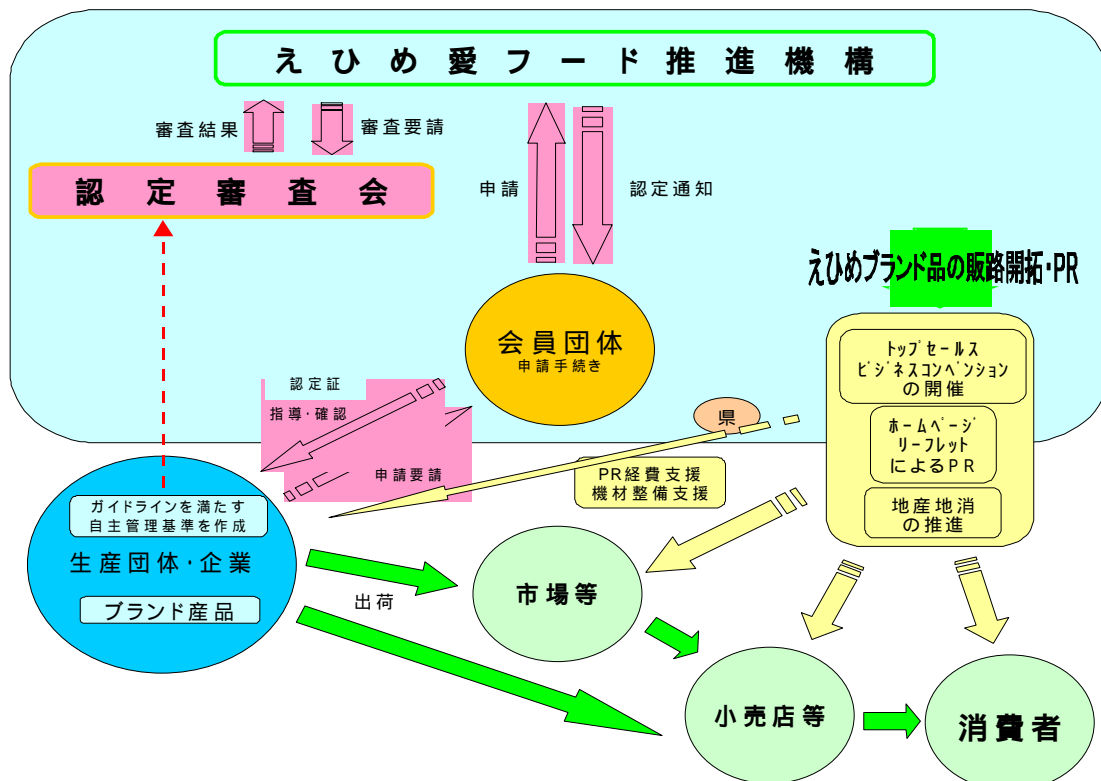
海外への輸出促進：フード台北2008出展、上海国際見本市出展

地産地消の推進：えひめの「食」料理コンクール、地産地消フェア

地域産品輸出促進対策事業（事業主体：西条市（周桑農業協同組合））

事業内容：デルフィニウムのテスト輸出及び展示・商談会（中国・上海市内）

「愛」あるブランドの認定及び販売拡大の流れ



(2) えひめ農林水産物ブランドづくり推進事業

ブランドづくり支援：「愛」あるブランド認定製品の需要や販路拡大等のための取組みを支援
 ブランドづくり条件整備支援：「愛」あるブランド認定製品の加工・流通・販売に必要な機械等の整備

(3) 水産物輸出支援事業

水産物輸出実践活動の支援：水産物の中国輸出のため生産者が主体的に行う、商品開発や見本市出展、テスト輸出等の諸活動に対する財政支援

3. 事業の成果指標と目標値

指標の名称	「愛」あるブランド認定品目数		
指標の説明	えひめ愛フード推進機構において「愛」あるブランドに認定された農林水産物及び加工品の品目数		
指標の方向性	↑	現状値と 目標値	現状値(平成19年度) 35品目 目標値(平成20年度) 40品目

4. 事業の全体計画(平成20年度スケジュール)

○えひめブランド等販売拡大事業

実施年月	推進機構の運営	
	項目	内容
20年6月	平成20年度総会	平成20年度事業計画・予算の承認
	フード台北2008(台湾)	国際食品見本市への出展・商談
7月	第1回ブランド認定審査会	県産農林水産物のブランド認定審査
10月	第2回ブランド認定審査会	県産農林水産物の加工食品のブランド認定審査
~	トップセールス(東京)	市場・百貨店での温州みかんなどのPR
12月	「愛」あるブランド製品のタベ(大阪)	ブランド製品のPR・販売促進イベント
	上海国際見本市	国際食品見本市への出展・商談
21年1月	トップセールス(近畿地区)	市場・量販店での伊予柑などのPR
~	量販店愛媛フェア(近畿地区)	量販店での県産農林水産物等の販売フェア
2月	えひめ地産地消フェア	地産地消の普及啓発、ブランド製品等の展示・販売
	えひめの「食」料理コンクール(松山)	ブランド製品を使った料理コンクール

○えひめ農林水産物ブランドづくり推進事業
 20年5月~ 事業実施計画承認、交付決定
 20年6月 補助事業開始

水産物輸出支援事業
 20年4月 補助金交付要綱制定
 20年5月 交付決定、補助事業開始



温州みかん



愛鯛(マダイ)



乾しいたけ

5. 事業の実施に当たり県民等に期待すること

県産農林水産物及びその加工品のブランド化については、良質の県産品を県民はもとより広く国民に提供することにより、本県の農林水産業や地域食品産業等の活性化を図るとともに、食の安全・安心の確保や食料自給率の向上、食育活動の推進に寄与するものです。

是非、良質の県産品である愛媛ブランドを愛用ください。

《重点事業 33》林業就業者の確保

[優先施策 26 関連]

フォレスト・マイスター養成支援事業費 [1,333 万円]

1. 事業の目的

近年、森林の持つ公益的機能に関する関心が高まる中、森林整備を支える林業労働力は減少・高齢化が進行しており、担い手の確保・育成が、森林の適正な整備を図るうえで緊急の課題となっています。

このため、県では、林業技術者(フォレスター)及び作業管理者(フォレスト・マイスター)養成研修を行うとともに、法律に基づき設立された林業労働力確保支援センターを中心として、県下の林業事業体に対し新規就業者の確保支援、就業条件の改善指導、事業体経営基盤強化・改善指導を行い、林業担い手の確保・育成を総合的に推進します。

2. 事業の概要

フォレスト・マイスター養成事業(事業実施主体：県)

県の林業研究センターにおいて森林整備に関わる者(フォレスター)及び作業管理者(フォレスト・マイスター)など作業を行う者のレベルに応じた研修を実施し、時代に即した林業労働力の確保・育成を図ります。


林業労働力確保支援センター事業(事業実施主体：林業労働力確保支援センター)

林業労働力の確保の促進等に関する協議会の開催、就業促進のための広報や相談等を行うとともに、林業事業体の経営合理化の指導を行います。

林業事業体改善計画認定等事業(事業実施主体：県)

林業事業体が策定する経営合理化及び雇用管理等についての改善計画の認定及び認定に関する講習会の開催等を行います。

3. 事業の成果指標と目標値

指標の名称	新規参入者			
指標の説明	新たに林業の担い手として、林業に就業した人の数値。平成 18 年度に改訂した「愛媛県林業労働力確保基本計画」の中で、平成 19 年度から 10 年間の単年度の目標値を設定した。			
指標の方向性		現状値と目標値	現状値(平成 19 年度)	目標値(平成 28 年度)
			実績 79 人(目標 67 人)	67 人

4. 事業の全体計画（スケジュール）

次の事業を毎年実施し、中核的な林業の担い手の育成・確保を行います。

林業技術研修

- ・フォレスター養成コース 20日 7名を養成
- ・フォレスト・マイスター養成初級コース 40日 12名を養成
- ・フォレスト・マイスター養成上級コース 40日 12名を養成

林業事業体の経営合理化や雇用管理の改善計画を認定 年3回実施

5. 事業の実施に当たり県民等に期待すること

森林所有者の皆さんは、持続的な管理・経営に努めるとともに、森林組合などによる施業の集団化に協力し、効率的な林業経営の推進に努めましょう。

森林組合は、組合員に対するサービスや働きかけを強化するとともに、他産業との連携を強化するなど、流域林業の振興に向けて積極的な事業展開を推進しましょう。

